

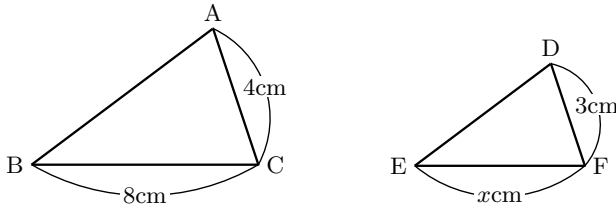
学習内容と例題

年 組 番 氏名

めあて 「相似な図形の性質を理解し、2つの図形が相似であるかどうか判断できる」

☑ 相似な図形では、対応する部分の長さの比はすべて等しく、対応する角の大きさはそれぞれ等しい。

例 次の図で、 $\triangle ABC \sim \triangle DEF$  であるとき、辺EFの長さを  $x\text{cm}$  として、その値を求めなさい。



解 相似な図形では、対応する部分の長さの比はすべて等しいから、

$$4 : 3 = 8 : x$$

$$4x = 24$$

$$x = 6$$

☑ 2つの三角形は、次のどれかが成り立つとき相似である。

- ① 3組の辺の比がすべて等しい。
- ② 2組の辺の比とその間の角がそれぞれ等しい。
- ③ 2組の角がそれぞれ等しい。

例 図で、 $\angle ADE = \angle ABC$  のとき、 $\triangle ADE \sim \triangle ABC$  となることを証明しなさい。

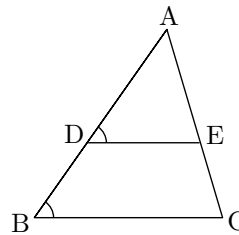
解  $\triangle ADE$  と  $\triangle ABC$  において

仮定から  $\angle ADE = \angle ABC \dots ①$

また、 $\angle A$  は共通  $\dots ②$

①、②より、2組の角がそれぞれ等しいから

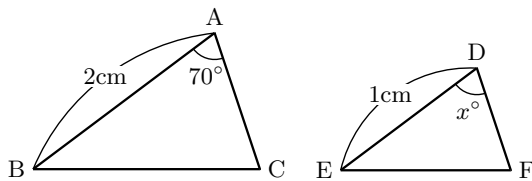
$\triangle ADE \sim \triangle ABC$  ■



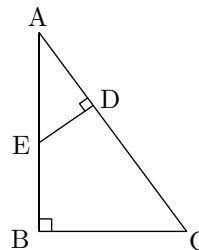
問題

1 次の各問に答えなさい。

(1) 次の図で、 $\triangle ABC \sim \triangle DEF$  であるとき、 $\angle EDF$  の大きさを  $x$  としてその値を求めなさい。



(2) 図で、 $\angle ADE = \angle ABC = 90^\circ$  のとき、 $\triangle ADE \sim \triangle ABC$  となることを証明しなさい。



解答・解説

1

(1) 相似な図形では、対応する角の大きさはそれぞれ等しいから、 $x = 70$

(2)  $\triangle ADE$  と  $\triangle ABC$  において

仮定から  $\angle ADE = \angle ABC \dots ①$

また、 $\angle A$  は共通  $\dots ②$

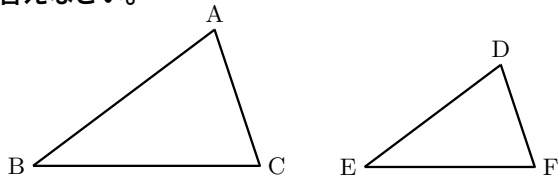
①、②より、2組の角がそれぞれ等しいから

$\triangle ADE \sim \triangle ABC$  ■

【問題演習 351】

年 組 番 氏名

1 次の図で、 $\triangle ABC \sim \triangle DEF$  であるとき、次の各問に答えなさい。

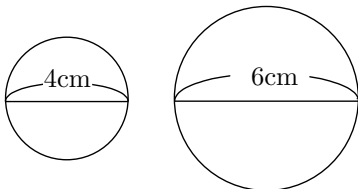


(1)  $\angle B$  に対応する角をいいなさい。

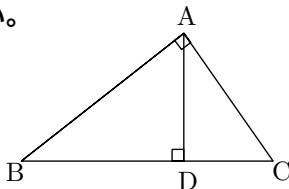
(2) 辺 AB に対応する辺をいいなさい。

(3)  $\angle A = 85^\circ$  のとき、 $\angle D$  の大きさをいいなさい。

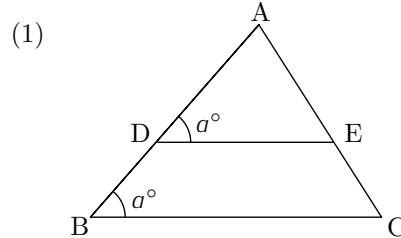
2 次の2つの円は相似で、その相似比は半径の長さに等しい。直径がそれぞれ 4cm、6cm のとき、2つの円の相似比を求めなさい。




3 図は、 $\angle A = 90^\circ$  である直角三角形 ABC で、点 A から辺 BC に垂線 AD をひいたものです。このとき、 $\triangle ABC \sim \triangle DBA$  となることを証明しなさい。

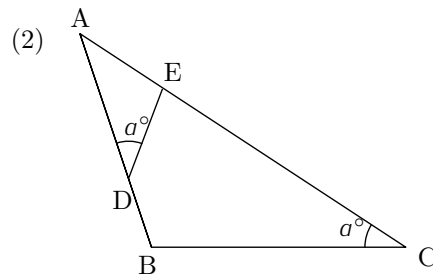


4 図で、相似な三角形を記号  $\sim$  を使って表しなさい。また、そのときに使った相似条件を書きなさい。



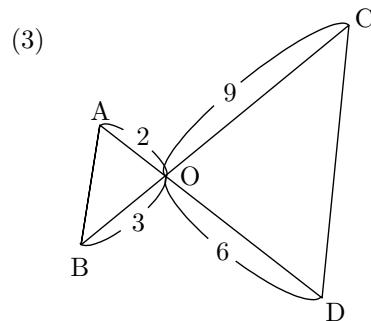
相似な三角形

三角形の相似条件



相似な三角形

三角形の相似条件



相似な三角形

三角形の相似条件

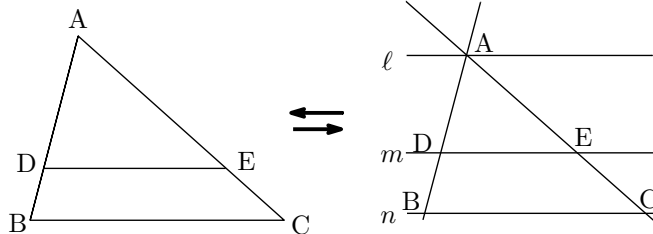
学習内容と例題

年 組 番 氏名

めあて 「三角形の1辺に平行な直線が、他の2辺に交わってできる線分の比について理解する」

☑ 【三角形と比の定理】 図で、

- (1)  $DE \parallel BC$  ならば  $AD:AB=AE:AC=DE:BC$
- (2)  $DE \parallel BC$  ならば  $AD:DB=AE:EC$

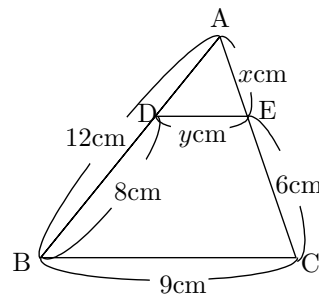


☑ 【三角形と比の定理の逆】 図で、

- (1)  $AD:AB=AE:AC=DE:BC$  ならば  $DE \parallel BC$
- (2)  $AD:DB=AE:EC$  ならば  $DE \parallel BC$

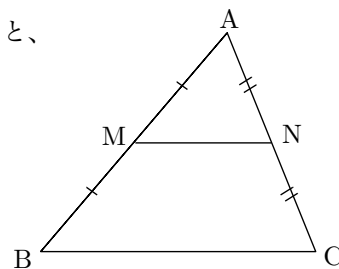
例 次の図で、 $DE \parallel BC$  とするとき、 $x, y$  の値を求めなさい。

解 図より、 $AD = 4\text{cm}$  で、 $AD:AB = 4:12 = 1:3$  であるので、  
 $\triangle ADE$  と  $\triangle ABC$  の相似比は  $1:3$  である。  
 $x:(x+6) = 1:3$  より、 $3x = x+6$  したがって、 $x = 3$   
 また、 $y:9 = 1:3$  より、 $y = 3$



☑ 【中点連結定理】  $\triangle ABC$  の2辺  $AB, AC$  の中点をそれぞれ  $M, N$  とすると、次の関係が成り立つ。

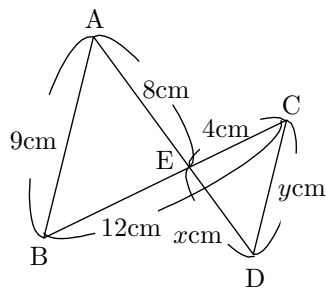
$$MN \parallel BC, MN = \frac{1}{2}BC$$



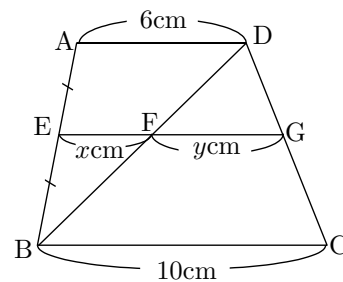
問題

1 次の各問に答えなさい。

- (1) 次の図で、 $AB \parallel CD$  とするとき、 $x, y$  の値を求めなさい。



- (2) 次の図で、四角形  $ABCD$  は、 $AD \parallel BC$  の台形です。辺  $AB$  の中点を  $E$  とし、 $E$  から辺  $BC$  に平行な直線をひき、 $BD, CD$  との交点をそれぞれ  $F, G$  とします。このとき、 $x, y$  の値を求めなさい。



解答・解説

1

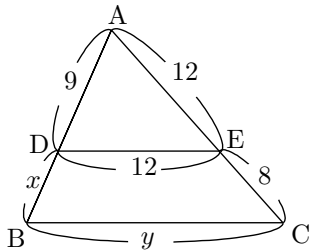
- (1) 図より、 $BE:EC = 8:4 = 2:1$  であるから、 $\triangle ABE$  と  $\triangle DCE$  の相似比は、 $2:1$  である。  
 図から、 $8:x = 2:1$  より、 $2x = 8$ 、したがって、 $x = 4$  また、 $9:y = 2:1$  より、 $y = \frac{9}{2}$  (または、4.5)
- (2)  $\triangle BAD$  について、三角形と比の定理より、 $F$  も  $BD$  の中点となることがわかる。同様に、 $\triangle DBC$  について、 $G$  も辺  $DC$  の中点となることがわかる。  
 したがって、それぞれの三角形について、中点連結定理より、 $x = 3, y = 5$  となることがわかる。

【問題演習 352】

年 組 番 氏名

5 図で、 $DE \parallel BC$ であるとき、 $x, y$ の値を求めなさい。

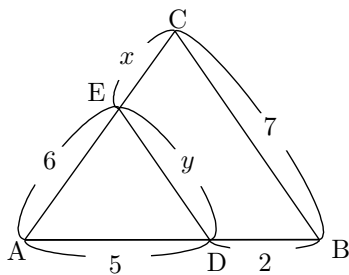
(1)



$x$ の値

$y$ の値

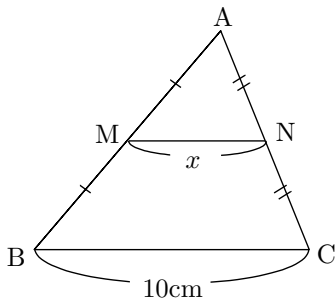
(2)



$x$ の値

$y$ の値

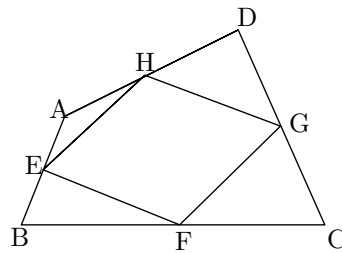
(3)



$x$ の値

6 次の証明において、に当てはまることばを書きなさい。

(1) 図で、四角形 ABCD の辺 AB, BC, CD, DA の中点をそれぞれ E, F, G, H とするとき、四角形 EFGH は平行四辺形になります。このことを証明しなさい。



(証明)

四角形 ABCD の対角線 BD をひく。

$\triangle ABD$  において、あは AB の中点、いは AD の中点であるから、う定理より、

え =  $\frac{1}{2}BD$ , え // BD

$\triangle CBD$  においても同様にして、

お =  $\frac{1}{2}BD$ , お // BD

したがって、

え = お, え // お

よって か (平行四辺形になるための条件) から、四角形 EFGH は平行四辺形である。 ■

あ

い

う

え

お

か

学習内容と例題

年 組 番 氏名

めあて 「相似比と面積比や体積比の関係を理解し、面積、体積を求めることができる」

☑ 相似な平面図形では、周の長さの比は相似比に等しく、面積比は相似比の2乗に等しい。

例 相似な2つの図形P, Qがあり、その相似比は2:3です。Pの面積が20cm<sup>2</sup>のとき、Qの面積を求めなさい。

解 相似比が2:3であるから、面積比は2<sup>2</sup>:3<sup>2</sup>, すなわち4:9となる。

Qの面積をxとすると、20:x=4:9 よって、x=45 答え 45cm<sup>2</sup>

☑ 相似な立体では、体積比は相似比の3乗に等しい。

例 相似な2つの三角柱P, Qがあり、その相似比は1:2です。Qの体積が88cm<sup>3</sup>のとき、Pの体積を求めなさい。

解 相似比が1:2であるから、体積比は1<sup>3</sup>:2<sup>3</sup>, すなわち1:8となる。

Pの体積をxとすると、x:88=1:8 よって、x=11 答え 11cm<sup>3</sup>

☑ 問題

1 次の各問に答えなさい。

(1) 相似な2つの図形P, Qがあり、その相似比は4:5です。Pの面積が64cm<sup>2</sup>のときQの面積を求めなさい。

(2) 相似な2つの三角柱P, Qがあり、その相似比は3:2です。Qの体積が24cm<sup>3</sup>のとき、Pの体積を求めなさい。

2 あるピザ屋のピザのサイズと値段は、次のようになっています。MサイズとLサイズではどちらを買ったほうが得になると考えられますか。理由に触れながら説明しなさい。ただし、ピザの厚さや具材は考えないものとし、ピザの形は円とみなすこととします。

	直径	値段
Mサイズ	25cm	2600円
Lサイズ	36cm	3900円

☑ 解答・解説

1

(1) 相似比が4:5であるから、面積比は4<sup>2</sup>:5<sup>2</sup>, すなわち16:25となる。

Qの面積をxとすると、64:x=16:25 よって、x=100 答え 100cm<sup>2</sup>

(2) 相似比が3:2であるから、体積比は3<sup>3</sup>:2<sup>3</sup>, すなわち27:8となる。

Pの体積をxとすると、x:24=27:8 よって、x=81 答え 81cm<sup>3</sup>

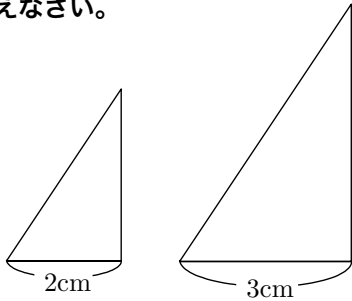
2

MサイズのピザとLサイズのピザの相似比は、直径の長さの比と等しいから、25:36である。

ここで、面積比は相似比の2乗に等しいから、2つのピザの面積比は、25<sup>2</sup>:36<sup>2</sup>, すなわち、625:1296 値段は1.5倍であるが、面積は約2倍になっているので、Lサイズを買ったほうが得になると考えられる。

年 組 番 氏名

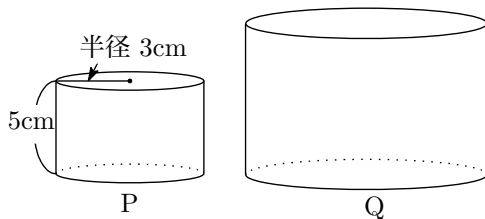
7 2つの相似な直角三角形がある。このとき、次の各問に答えなさい。



(1) 周の長さを簡単な整数の比で表しなさい。

(2) 面積を簡単な整数の比で表しなさい。

8 底面の半径が 3cm で高さが 5cm の円柱 P がある。円柱 Q は円柱 P と相似で P と Q の相似比は 1 : 2 である。このとき、次の各問に答えなさい。ただし、円周率を  $\pi$  とする。

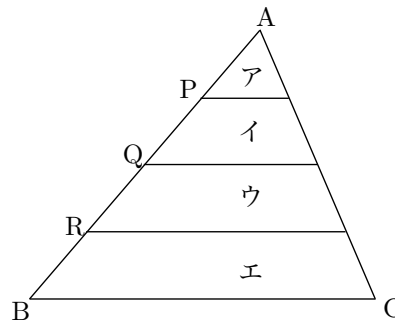


(1) 円柱 Q の表面積を求めなさい。

(2) 円柱 Q の体積を求めなさい。

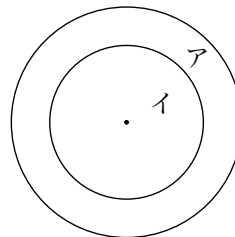
(3) 円柱 P の形の容器に水を入れ、その水を円柱 Q に移す。何杯でいっぱいになるか答えなさい。

9 図で点 P, Q, R は  $\triangle ABC$  の辺 AB を 4 等分する点で、それらを通る線分はいずれも辺 BC に平行である。アの面積が  $1\text{cm}^2$  のとき、イ, ウ, エの面積をそれぞれ求めなさい。






10 図のように、半径 2cm の円の中に同じ点を中心とする円をかき、2 つの円で囲まれた部分をア、内側の円をイとする。アとイの面積が等しいとき、内側の円の半径を求めなさい。



**1**

- (1)  $\angle E$                       (2) 辺 DE                      (3)  $\angle D = 85^\circ$

**2** 2 : 3

**解き方・考え方**

半径はそれぞれ 2cm と 3cm より、相似比は 2:3

**3** (証明)

$\triangle ABC$  と  $\triangle DBA$  において

仮定より、 $\angle BAC = \angle BDA (= 90^\circ)$  ... ①

共通な角だから、 $\angle ABC = \angle DBA$  ... ②

①,②より、2組の角がそれぞれ等しいから

$\triangle ABC \sim \triangle DBA$  ■

**4**

- (1) (相似な三角形)  $\triangle ABC \sim \triangle ADE$   
 (三角形の相似条件) 2組の角がそれぞれ等しい
- (2) (相似な三角形)  $\triangle ABC \sim \triangle AED$   
 (三角形の相似条件) 2組の角がそれぞれ等しい
- (3) (相似な三角形)  $\triangle OAB \sim \triangle ODC$   
 (三角形の相似条件) 2組の辺の比とその間の角がそれぞれ等しい

**5**

- (1) ( $x$  の値) 6  
 ( $y$  の値) 20
- (2) ( $x$  の値)  $\frac{12}{5}$   
 ( $y$  の値) 5
- (3) ( $x$  の値) 5cm

(1)(3)の解き方・考え方

(1)  $\triangle ADE \sim \triangle ABC$  より、

$$9 : (9 + x) = 12 : (12 + 8)$$

$$12(9 + x) = 9 \times 20$$

$$9 + x = 15$$

$$x = 6$$

$$12 : (12 + 8) = 12 : y$$

$$12 \times y = 20 \times 12$$

$$y = 20$$

(3) M は AB の中点、N は AC の中点であるから、  
 中点連結定理より、

$$\begin{aligned} MN &= \frac{1}{2} BC \\ &= \frac{1}{2} \times 10 \\ &= 5 \end{aligned}$$

**6**

- Ⓐ E
- Ⓘ H
- Ⓚ 中点連結
- Ⓔ EH
- Ⓛ FG
- Ⓜ 1組の対辺が平行でその長さが等しい

**7**

- (1) 2 : 3    (2) 4 : 9

(1)(2)の解き方・考え方

(1) 相似な図形では、対応する線分の長さの比はすべて等しいから、周の長さの比も 2:3 である。

(2) 相似な三角形では、相似比が  $m : n$  のとき、面積の比は  $m^2 : n^2$  であるから、

$$2^2 : 3^2 = 4 : 9$$

**8**

- (1)  $192\pi\text{cm}^2$                       (2)  $360\pi\text{cm}^3$                       (3) 8杯

9

イ  $3\text{cm}^2$

ウ  $5\text{cm}^2$

エ  $7\text{cm}^2$

10  $\sqrt{2}\text{cm}$

解き方・考え方

内側の円の面積と、外側の円の面積の比は  $1:2$  より、  
相似比は  $\sqrt{1}:\sqrt{2}$ 、つまり  $1:\sqrt{2}$

外側の円の半径は  $2\text{cm}$  なので、内側の円の半径を  $x$  と  
すると、

$$1:\sqrt{2} = x:2$$

$$\sqrt{2}x = 2$$

$$x = \sqrt{2}$$